

## 蟹江康光の略歴

1941（昭和16）年8月8日 名古屋市で生まれる  
現住所 249-0004 逗子市沼間 2-9-4-405

### 学 歴

1960（昭和35）年3月 東海高等学校卒業  
1960（昭和35）年4月 横浜国立大学学芸学部地学科入学  
1964（昭和39）年3月 横浜国立大学学芸学部地学科卒業  
1964年4月～1966年3月 横浜国立大学学芸学部地学専攻科

### 研究歴

1967（昭和42）年4月～  
1973年1～2月 地質学・古生物学の研究に着手し、現在にいたる  
ロスアンゼルス群立自然史博物館・UCLAで研究  
1975（昭和50）年3月 九州大学より理学博士授与  
1995（平成2）年7月～ 三浦半島活断層調査会顧問

### 職歴（常勤）

1966年4月～1967年3月 横須賀市立明浜小学校助教諭  
1967（昭和42）年4月～ 横須賀市博物館技術吏員  
1970年7月～1983年5月 横須賀市博物館学芸員  
1983年6月～1998年3月 横須賀市自然博物館学芸員・横須賀市人文博物館学芸員（自然博物館と人文博物館に分離）  
1983年6月～1998年3月 横須賀市自然博物館主任学芸員  
1998（平成10）年4月～ 横須賀市自然・人文博物館主任学芸員（両博物館が統合し、名称を変更）  
2001（平成14）年3月 横須賀市自然・人文博物館を退職

### 職歴（非常勤）

1971年10月～1972年10月 文部省社会教育審議会専門委員社会教育施設分科会  
1977年4月～1980年3月 工業技術院地質調査所非常勤調査員  
1990（平成2）年9月 静岡大学理学部講師  
1994年4月～1995年3月 横浜市文化財保護審議会専門調査員  
1994年8月～ 進化生物研究所客員研究員

### 企業歴

2002（平成14）年10月 あーすコンサルを設立し、代表者

## 主な展示

- 1970（昭和45）年10月～ 横須賀市博物館の「三浦半島のおいたち・ナウマンゾウ，三浦半島をとりまく地形，生命の歴史，美しい石，岩石壁面，紫外線と蛍光鉱物三浦半島の貝類」
- 1983（昭和57）年6月～ 横須賀市人文博物館の展示「三浦半島をつくる地層・関東ローム層」など
- 1988（昭和64）年5月～ 馬堀自然教育園「教育園付近の地質構造，走水-馬堀湧水の推定湧出機構，地殻ひずみ量の観測システム，地殻のひずみ量」
- 1990年4～7月 特別展示「相模湾の貝類学」
- 1994年1～5月 特別展示「深海から生まれた三浦半島」
- 1996年6月～1997年3月 国際学術調査報告展示「マダガスカル島の古生物」
- 1999年4月～2000年3月 特別展示「三浦半島の活断層-伊豆小笠原弧の形成と活断層」
- 1999（平成11）年11月～ 天神島ビジターセンター「天神島とその周辺の地形と地質，天神島をつくる地層，天神島付近の地質学的特徴」
- 2001年12月～2002年1月 特別企画展示「横須賀市自然・人文博物館地球科学部門30年の成果」

## 主な著書

- 1975年 「北太平洋沿岸地域における笠型巻貝の進化学的研究」，博士号学位論文
- 1985年 「横須賀の地質」
- 1986年 「西舎地域の地質」，酒井 彰と共著
- 1991年 「三浦半島地質図・三浦半島環境地質図」，
- 1991年 「三浦層群-年代学と諸問題」，共著編集
- 1992年 「5万分の1地質図幅<三石>及び説明書」，和田信彦ほかと共著
- 1994年 「深海から生まれた三浦半島」
- 1995年 「葉山層群の断層破碎帯から発見された化学合成生物群」，共著編集
- 1999年 「伊豆・小笠原弧の形成と活断層」，今永 勇と共著編集
- 2002年 「横須賀市自然・人文博物館地球科学部門の研究業績」
- 2003年 「浦河地域の地質」，酒井 彰と共著